

2022年度 安全報告書



うみ・まち・さと—心でむすぶ

 **ことでん**

Plan（計画）

1. 安全の基本的な方針と安全の目標

（1）基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全綱領」を次のように掲げ、社長以下、社員全員に周知・徹底しています。

《安全綱領》

- 1) 安全は、輸送業務の最大の使命である。
- 2) 安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築き上げられる。
- 3) 確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
- 4) 安全の確保のためには、職責を超えて一致協力しなければならない。
- 5) 疑わしいときは、手落ちなく考えて、最も安全と認められるみちを採らなければならない。

（2）安全目標

輸送の安全の確保に関する基本方針に基づき、2022年度～2026年度（5年間）の鉄道輸送安全目標は、下表のとおりです。今後も社長以下、社員一丸となって事故防止に努め安全かつ安定した輸送の確保に取り組んでまいります。

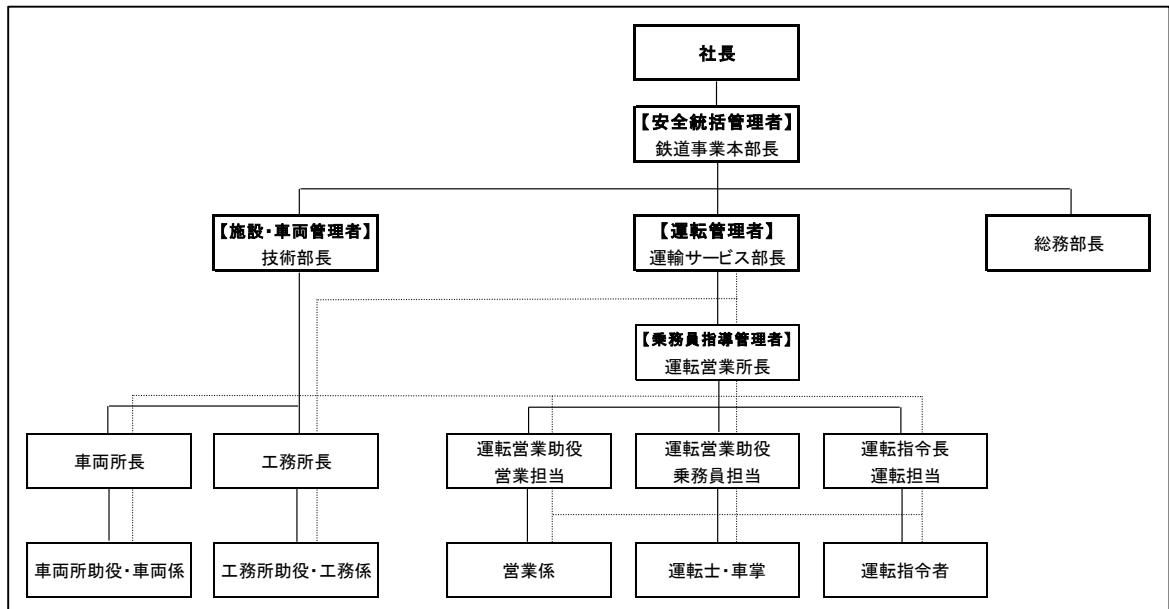
区分	項目	内容
鉄道輸送安全目標 〈定量的な目標〉	列車事故（衝突・脱線・火災）	5年間 発生させない
	人身障害事故	年間 2件以下に止める
	踏切障害事故	年間 3件以下に止める
	重大インシデント	5年間 発生させない

2. 安全管理体制

2006年3月の鉄道事業法の改正により、同年10月に「安全管理規程」を制定し、経営トップである社長を最高責任者とし、安全統括管理者・運転管理者・その他の責任者による安全管理体制を確立しています。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
[安全統括管理者] 鉄道事業本部長	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
[運転管理者] 運輸サービス部長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び事故防止に関する事項を統括する。
[施設・車両管理者] 技術部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設及び車両に関する事項及び投資計画に関する事項を統括する。
総務部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全確保に必要な要員に関する事項及び予算計画に関する事項を統括する。
[乗務員指導管理者] 運転営業所長	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

体制図



2022年3月末現在

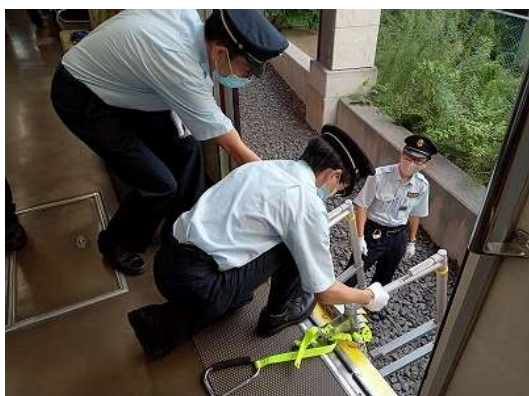
Do (実行)

3. 安全性向上のための人材の教育・育成

(1) 計画的な安全教育の実施

安全を支える人材の育成と社員個々のスキルアップを目的として、『係員の教育訓練規程』に基づき、年間6回のスケジュールにより、職種別の安全教育カリキュラムを継続して実施しています。2021年度は、新型コロナウイルス感染症により、2回の実施となりましたが、机上教育や実地教育の充実とあわせ、習熟度を確保するための考査を実施して係員の資質の維持と向上に努めました。

また、安全教習の終了後には、受講者全員に対し教習内容に関するアンケートを実施し、有効性についてのヒヤリングを行いました。アンケート結果を今後の安全教育に反映させ継続的な改善を図ってまいります。



【実車教習】



【現場教習】



【専門知識教習】



【専門知識教習】

(2) 緊急時の対応に対する訓練

◎総合事故対策訓練

2021年10月『列車と倒壊した警報柱が衝突』を想定した総合事故対策訓練を実施しました。コロナ禍により、規模を縮小し総勢50名が参加、指令伝達訓練、避難誘導訓練、車両復旧訓練、施設復旧訓練などを実施し、緊急事態発生時の手順や体制を再確認いたしました。



◎地震発生時における訓練

2021年11月5日に運転指令所内に設置している緊急地震速報装置で「震度5弱を受信」を想定し、運転指令及び関係社員が無線通信による情報伝達訓練と情報提供訓練を実施いたしました。



【指令伝達】



【情報提供】

◎テロ対策訓練

2021年12月22日に瓦町駅（志度線口）において、香川県警察本部・高松北警察署にご協力いただき、総勢38名でテロ対策訓練を実施いたしました。



全てのお客様が安心して、電車をご利用いただけますよう更なる安全・安心輸送に取り組んでまいります。

（3）救急救命講習会の実施

2021年11月に「日本赤十字社香川県支部」から講師を招聘し、急病人等の救急救命活動を円滑に行うために運輸部門の社員（206名）に対して、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸）の講習会を実施いたしました。この講習会は、2003年から継続して取り組んでおり、繰り返し受講することにより事故や災害時の対応能力の維持・向上に努めています。



【AED装着】



【心肺蘇生】

4. 鉄道事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2021年度は、踏切障害事故が2件発生しました。事故の原因は、踏切での直前横断等によるものです。

(2) 自然災害

7月の局地的な豪雨や12月に香川県内で震度4が観測されたことから、運転規制を実施し、計2件の自然災害による輸送障害が発生しました。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

上記2件の自然災害を含め、7件の輸送障害が発生しました。設備の不具合など当社の責任によるもの2件については、直ちに原因を分析し、再発防止対策を講じています。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

(4) 重大インシデント

2021年度は、施設障害〔踏切無遮断・無警報〕に関するインシデントが2件発生しました。インシデント発生の概要及び再発防止対策は、以下のとおりです。

【施設障害①】 踏切の無遮断

- 発生日時 2021年12月3日（金） 14時53分
- 発生場所 琴平線 岡田駅～栗熊駅間
長者原踏切（瓦町起点 24K607m）
- 列車 第44列車 2両編成
- 原因 遮断機の更新工事に伴う配線の改修作業中に本来撤去すべきリレーを取り外さなかったため、遮断桿が降下しなかった。
- 対策（抜粋）
 - 緊急対策 ・工務所の電気係員及び請負業者の係員に対し事象説明を行い、作業における注意事項について臨時教習を実施。
 - 恒久対策 ・外部講習会を受講し、社員の業務知識を向上。
 - ・全係員が作業手順や注意事項を把握できる体制を構築するため、配線改修図に注意事項を明記。
 - ・「踏切器具箱改修工事監督員作業マニュアル」を整備。
 - ・事故防止安全規定の教育と列車見張員の配置、踏切監視の実施。
 - ・運転士に対する作業箇所の注意と異常時の停止手配を周知。

【施設障害②】 踏切の無遮断・無警報

- 発生日時 2022年2月8日(火) 19時5分
- 発生場所 琴平線 平木駅～学園通り駅間
新川堤防踏切 (瓦町起点 11K226m)
- 列車 第2063列車 2両編成
- 原因 踏切器具箱内に設置しているシリコン整流器(交流100Vを踏切制御機器用の直流24Vに変換する機器)の2次側ヒューズに定格を超えた電流が流れ熔断したため、踏切制御機器の電源が消失し、踏切の機能が停止した。
- 対策(抜粋)
 - 緊急対策
 - ・踏切用整流器の緊急点検及びヒューズの更新。
 - 恒久対策
 - ・踏切保安装置の追加、更新時における整流器の容量を確認。
 - ・踏切の定期検査、点検時にダブルチェックで確認。
 - ・電気設備に関する教育、訓練。

(5) 行政指導等

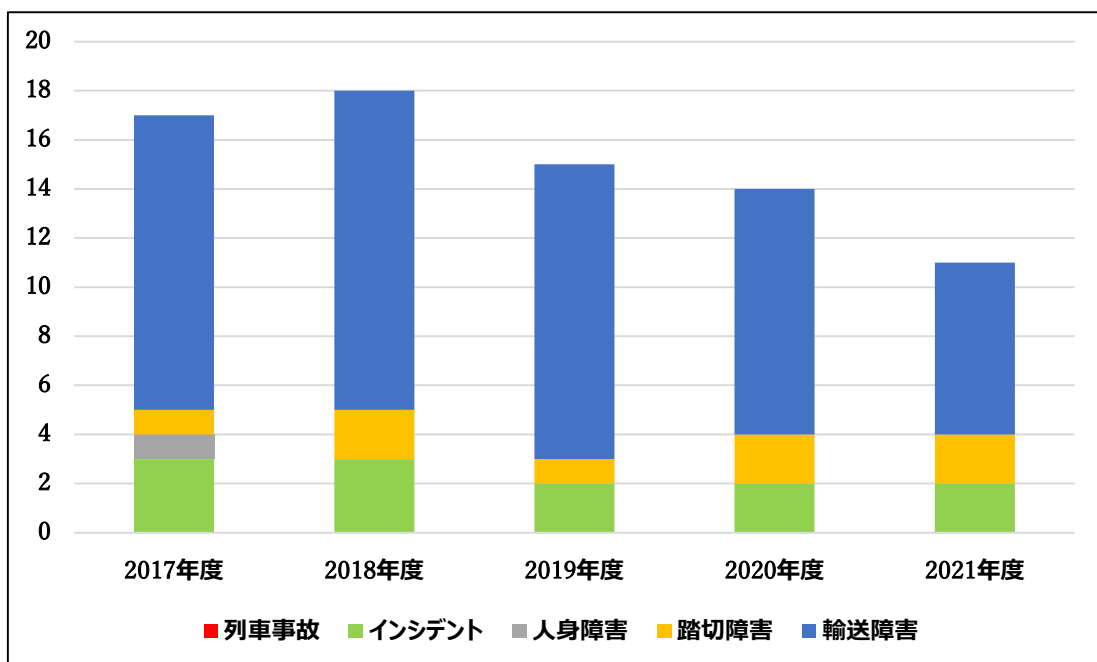
2022年2月9日付け四運鉄安第105号「鉄道的安全輸送の確保について」で四国運輸局から行政指導を受けました。

2021年に発生した踏切道の無遮断通過におけるインシデントの背後要因を含めた詳細な調査と再発防止対策を講じ、調査結果及び講じた措置等について、速やかに報告するよう警告を受けました。

四国運輸局への報告内容については、前項(4)にて報告いたしました。

(6) 事故等の発生件数の推移

過去5年間における事故等の発生件数は以下のとおりです。



Check (評価)

5. 安全に関する検証

(1) 経営トップによる安全査察

社長・安全統括管理者をはじめとする常勤役員により、年末年始の輸送等に関する安全総点検期間中に現場査察を実施し、安全管理状況を確認し輸送の安全確保に努めました。



(2) 保安担当部署長会

部長・所長・助役でメンバー構成された「保安担当部署長会」を月次で開催し、ヒヤリ・ハット情報の分析や事故防止対策等の詳細を議論するとともに、本社と現業の間や現業部署間の意思疎通等「たて・よこ」の連携強化に努めています。

(3) 事故情報のシステム化

2003年4月から運転事故・輸送障害等の事象を『セーフティBOX』によりシステム管理し、2022年3月末現在で9,414件の事象をデータベース化しています。このシステムを活用することにより、入力された情報は速やかに現業社員から経営トップまでの共有化と透明性を確保しています。2021年度は676件の事象を収集・分析し、再発防止対策については、スピードを持って実行するよう努めています。

Action (改善)

6. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全推進委員会

安全対策を推進する会議として、社長・安全統括管理者から現業社員までの全職種が出席する「安全推進委員会」を2002年9月から月次で開催しています。2021年度は、コロナ禍により計7回開催いたしました。この委員会では、現場社員との意見交換の時間を設定し、事故情報以外にも日頃の取組みの報告や現場部門で抱える課題等が直接社長に伝えられ、経営トップから現業社員まで情報の共有化を図っています。



【安全推進委員会】

(2) 輸送施設の安全性向上

◎遮断機の更新

2021年度に遮断機93台を更新しました。



【更新前】



【更新後】

◎踏切制御機器の更新

2021 年度に 20 台の踏切制御機器を更新しました。



【更新前】



【更新後】

◎PC 枕木交換

志度線の六万寺駅から大町駅間の「木枕木」を「PC 枕木」に交換しました。今後、各線で木枕木を使用している箇所についても、PC 枕木交換への更新を計画してまいります。



【更新前】



【更新後】

◎ホーム転落防止塗装

瓦町駅（志度線口）と琴電琴平駅のホームに転落防止塗装を施工しました。



【志度線口】



【琴電琴平】

◎踏切非常用押しボタンを新設

2021年8月24日に八栗駅～六万寺駅間の「宮ノ下踏切」に踏切非常用押しボタンを新設しました。



◎ホーム非常通報装置設置

2021年11月1日に瓦町駅（志度線口）において、構内での異常を運転士に速やかに伝えるためホーム非常通報装置を設置しました。非常停止ボタンを押した瞬間にホームに設置された赤いランプが点灯します。それを運転士が目視して、非常ブレーキをかけます。危険だと思ったら、ホーム中央付近の非常ボタンをすぐに押してください。



【非常押しボタン】

◎車両乗降扉戸挟み防止テープ

戸挟みの防止を目的に志度線の全車両 20 両に黄色テープを施工しました。引き続き、琴平線と長尾線の全ての車両に施工してまいります。



(3) 防災情報提供システムの活用

運転指令所内に防災情報提供システム専用のPCを設置し、気象庁が発表する防災情報や各種観測数値をリアルタイムで入手し異常気象時の運転規制等に活用しています。このシステムはインターネットを利用して、Web及び電子メールにより、大雨・地震・津波等の注意報や警報情報の発表と同時に専用PCへメール配信されるものです。

(4) SAS対策（睡眠時無呼吸症候群対策）

運転士には、定期的にSASの検査器具『パルスオキシメーター』を睡眠時に装着してスクリーニング検査を実施しています。SASの疑いが認められた場合には、精密検査を受診するほか、治療が必要と診断された場合には、医師による治療を義務付けしています。

(5) 乗務前点呼の厳正

運転士・車掌には『出勤点呼マニュアル』に基づき、乗務前の点呼時にアルコールチェッカーを使用した呼気の測定を義務付けています。2021年2月からは、アルコール検知結果をデータ管理することで更なる出勤点呼の厳正化を図っています。また、点呼執行者との対面点呼により、睡眠時間や心身の異常の有無をチェックし、睡眠不足や体調不良等に起因するヒューマンエラーの防止に努めています。



(6) ヒヤリ・ハット等安全に関わる情報の収集強化および事故防止への活用 ◎ヒヤリ・ハット運動

鉄道事故や輸送障害等の未然防止を図るため、ヒヤリ・ハット情報の収集に積極的に取り組んでいます。ヒヤリ・ハットシート及びヒヤリ・ハットBOX（投函箱）を設置し、報告された情報は、担当部署が集約を行い原因と対策を検討し、写真やコメントを添えて全件全数を現場へフィードバックしています。

2021年度は、250件のヒヤリ・ハット報告があり、実施した対策は、安全推進委員会で報告と情報の共有化を図っております。

◎安全に関する社員の声に対する表彰制度

収集したヒヤリ・ハット報告の中から、会社全体の輸送の安全性向上に寄与した情報を報告した社員に対し、表彰制度を設けています。2021年度は特別賞の含め、3件のヒヤリ・ハット報告が表彰されました。



◎ヒヤリ・ハット事例

全線全踏切のナンバリングについて

踏切の場所を正確に把握するため、踏切にナンバリングを実施しました。



【対策前】



【対策後】

(7) サービス介助士について

社員のサービス介助士の資格取得を推進し、お年寄りやお身体の不自由なお客様にも安心してご利用頂けるやさしい駅づくりを目標にハード・ソフト両面において、お客様視点に立ったサービスの提供に取り組んでいます。

2022年3月末現在、駅係員を含む77名がサービス介助士の資格を取得しています。

サービス介助士



お客様の利便性向上のために

(1) 伏石駅のグランドオープン



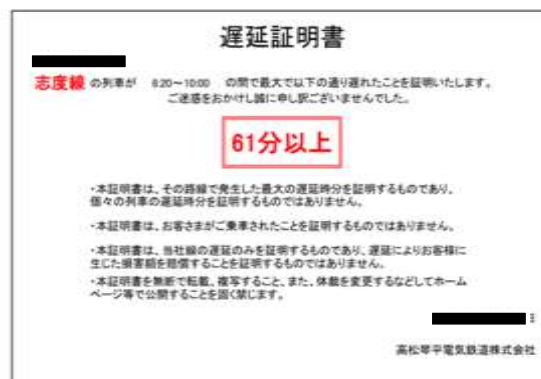
2021年11月6日に駅前広場が完成し、伏石駅がグランドオープンいたしました。この駅は、高松市が進めるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの中の交通結節拠点として、設置されたバスターミナルには、路線バスのごとでんバスのレインボー循環バス・伏石駅サンメッセ線と高速バスの高徳エクスプレス（大川自動車・四国高速バス）が乗り入れを開始しました。

(2) お客様からのご意見

2002年8月からお客様より頂戴したご意見は『イルカBOX』でシステム管理し運用を開始以降、2022年3月末までに18,765件のご意見をデータベース化し、情報を全社員で共有しています。2021年度は1,103件のご意見が寄せられ、頂戴したご意見は、月次で開催される『サービス改善推進委員会』で討議し、具体的な改善策を講じるとともにホームページと駅に設置する掲示板において、原則として全数回答・公表するように努めています。

(3) ホームページでの遅延証明書の発行

2021年10月25日より、電車で遅延が発生した場合、ことでのホームページから遅延証明書を簡単に確認、出力することが出来るようになりました。



(4) 自動券売機の代替・自動チャージ機の設置

2022年2月と3月に仏生山駅、琴電琴平駅、林道駅、水田駅、湯元駅の自動券売機を代替更新しました。また、2021年12月16日より湯元駅に自動チャージ機を設置いたしました。



(5) 自動体外式除細動器 (AED)

自動体外式除細動器 (AED) とは、心室細動などにより心臓が止まった方に電気ショックを与え、正常な心臓の動きを取り戻させる機器です。医療関係者以外でも安全に使用できる医療機器で瓦町駅及び高松築港駅に設置しております。



(6) 乗車マナー向上の取り組みについて

お客様に駅構内や電車内で快適にお過ごしいただけるよう乗車マナー向上のご協力をお願いしています。その一環として、お客様に守っていただきたいマナーとルールを周知するため「さぬき弁マナー講座①～⑫」を弊社のホームページ及び駅構内や電車内に掲出しています。

ポスター



(7) 地域の皆様への啓発活動

通学列車合同特別補導を高松地域生徒指導推進協議会と合同で実施し、乗車マナー向上の啓発活動にも取り組みました。

(8) こども110番の駅

登下校時に、こどもを犯罪の被害から守るための全国的な地域運動として始まった「こども110番の家」を鉄道駅へと広げる取り組みで、2005年4月から有人駅で活動しています。「こども110番の駅」では目印となるステッカーを見て、こどもたちが駅に助けを求めてきた場合に保護し110番通報を行うなどの対応を行います。



(9) ミライロIDの公開

2021年7月1日より障害者割引の適用に際し、従来の手帳提示に加え、障害者手帳アプリ「ミライロID」の提示による適用を開始いたしました。



感染防止の取り組み

電車内での対策

お客様に安心してご利用いただく為に雨天時を除き、電車の窓を一部開けて運行しております。また、4日に1度の入庫時にこまめな電車内の清掃に取り組んでおります。



駅構内での対策

有人駅の窓口には飛沫防止シートを設置しております。有人駅の入口には、ノータッチ式ディスペンサーを設置し手指の消毒をお願いするほか、駅務機器の定期的な消毒やソーシャルディスタンス確保等、感染防止対策の呼びかけを行っております。



社員の感染予防対策

全社員にマスクの配布を行い、マスクの着用と出勤前の検温を義務付けております。また、運行乗務員は、休憩所の分散やパーテーションによる密集を回避に取り組んでいます。マスクを着用したままでもお客様に注意を促すことのできる電子ホイッスルの導入、点呼執行場への飛沫防止シート設置等の感染予防対策を行っております。

今後も鉄道連絡会が策定した「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を踏まえ、感染防止に向け取り組んでまいります。

お客様へのお願い

◎車内でのお願い

車内で不審物を発見した場合や異常が発生した場合には、速やかにお近くの乗務員までお知らせください。また、各車両には、車内通報装置を設置しています。車内通報押ボタンを押すと運転室の表示灯が点灯するとともにブザーが鳴動し、乗務員に異常を知らせます。



◎踏切でのお願い

踏切では一旦停止し、警報機が鳴り始めれば絶対に踏切内には入らないようにしましょう。踏切内に閉じ込められた場合は、バーを押し切って、速やかに踏切の外に出てください。もしも人や車が踏切内で立ち往生した場合は、速やかに非常ボタンを押し、接近する電車に異常をお知らせください。

2021年度の遮断桿の折損件数は70件です。その内34件については、そのまま立ち去られています。踏切道で異常が発生した場合には、そのまま立ち去らずに必ず非常連絡先に連絡していただき、踏切名やナンバリングをご一報ください。



ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

高松琴平電気鉄道株式会社 運輸サービス部

電話 087-863-7300 月～金（祝祭日を除く）9:00～17:00

E-Mail irucabox@kotoden.co.jp